

## <レース参戦報告書>

- ・大会名称・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ Tensor Tire - Parker250
- ・開催場所・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ アリゾナ州 Parker
- ・開催日時・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2021年 2月18~20日
- ・参戦クラス・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ UTV-Rally (36台出走)
- ・ドライバー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ TEAM GEOLANDAR 堀郁夫
- ・Coドライバー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ラリーストリーム 染宮和弘
- ・参戦マシン・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ PORARIS-RZR (レンタル)
- ・レース結果・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ クラス9位
- ・エントリー内容・・・・・・ BIKE 60台、クワッド13台、UTV 162台・・・・・・合計 235台
- ・レース形式・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1周60マイル (約100km) X 3~4周
- ・アルバム・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ <https://photos.app.goo.gl/fmerC2nVQChwtwn26>

### \* レース内容

近年 UTV の参戦台数が急激に増加している事に合わせ、今年から UTV と BIKE&クワッドを、これまでのトラックやバギー主体のレースから切り離し、単独シリーズとした初戦。我々の参戦したクラスは本来、ルーキーやオールドドライバーが少しの改造でレースを楽しむクラスとなっていたはずなのだが、何でも過激に進化してしまうのがアメリカ。車検に来てびっくり、総合優勝してもおかしくないマシンが勢ぞろい。スペアパーツも無いレンタカーなので、トコトコ走ってレースを楽しむつもりだったが、周りは超本気モードでそれも許されそうにない。とにかく本戦は生き残る事を第一にスタートを切った。

コースには既に100台近くが爆走している為、スタートから激しいダストで視界ゼロ。ここでスピードを落とすと後続車にガンガン追突されるので、逆にペースを上げて前走車をゴボウ抜き。約40マイル地点でクラストップに躍り出るも、そこまでのストレスのせいか突然の駆動ベルト切れでストップ。全開巡行中だった為にダメージも激しく、再スタートまでに約10分のタイムロス。スペアパーツも無いレンタカーだった事を再認識して、そこからはマシンを労わる走りに徹してクラス9位でフィニッシュ。序盤の駆動ベルト切れ以外はパンクもトラブルも無く、上々のレース運びだったと思う。10分のタイムロスを差し引けば5位相当のタイム、それでもトップとは約20分差だ。今回のマシンはショートコース用セッティングのままだったので、デザート用セッティングに変更して10分短縮、更にドライビングで約10分短縮と、上位進出の可能性も見い出せたが、ライバル TEAM のレベルは高く、ここからのハードルはかなり高そうだ。

厳しい状況の中、皆様のご協力のおかげで無事完走&帰国できたことを改めて感謝いたします。有難うございました。

2021年2月25日 SUMMIT RACING PROMOTIONS 代表 堀郁夫